

兵庫県水産技術センターだより

貝毒情報(アサリ) KD-22-15号

平成23年3月25日発行

プランクトン及び貝毒検査を3月22日～3月25日に実施しましたので、その結果をお知らせします。

【概況】・麻痺性貝毒検査(3/24)の結果、今回検査した全地点で、規制値(4マウスユニット/g)を上回る麻痺性貝毒は検出されませんでした。

・下痢性貝毒検査(3/25)の結果、下痢性貝毒は検出されませんでした。

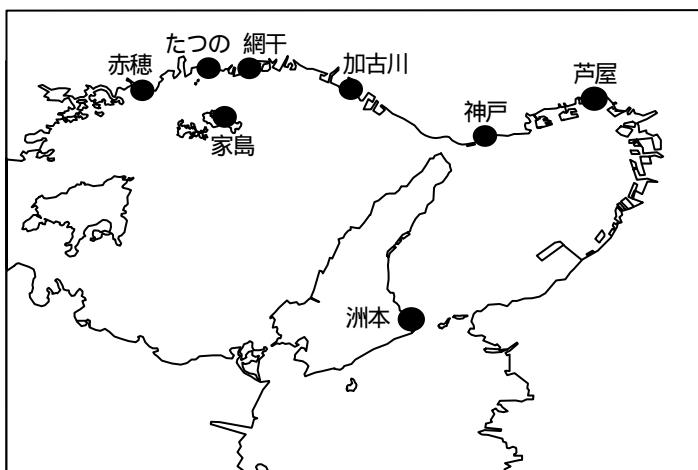
・貝毒原因プランクトンは、警戒密度に達する地点はありませんでした。



【検査結果】

年月日(採水・採取)	H23. 3.22	H23. 3.22	H23. 3.22	H23. 3.22	H23. 3.22	H23. 3.22	H23. 3.22	H23. 3.22	
地点(St.)	芦屋 (潮芦屋公園)	神戸 (垂水)	加古川	姫路 (網干)	姫路 (家島)	たつの	赤穂 (唐船)	洲本	
水温()	10.5	10.0	12.8	10.0	9.1	10.2	11.3	12.2	
塩分	18.0	30.5	14.5	16.1	32.4	32.5	8.2	32.4	
貝類の 毒化状況 (マウスユニット/g)	麻痺性貝毒	ND		ND	ND	ND	ND	3.0	
	下痢性貝毒			ND		ND			
麻痺性貝毒 原因プラン クトン	アレキサンドリウム タマランセ <i>Alexandrium tamarense</i> (個数/ℓ)	180	4,630	0	0	120	280	0	260
	アレキサンドリウム カテネラ <i>Alexandrium catenella</i> (個数/ℓ)	0	0	0	0	0	0	0	0
下痢性貝毒 原因プラン クトン	ディノフィシス フォルティ <i>Dinophysis fortii</i> (個数/ℓ)	0	10	0	0	0	20	0	0
	ディノフィシス アクミナータ <i>Dinophysis acuminata</i> (個数/ℓ)	0	0	0	0	20	0	0	0

NDとは、検出限界以下のことです。



< 規制の基準 >

麻痺性貝毒: 4マウスユニット/g
下痢性貝毒: 0.05マウスユニット/g } を超えた場合

< 注意が必要なプランクトン密度 >

・麻痺性貝毒原因プランクトン(代表的な種)

アレキサンドリウム タマランセ
Alexandrium tamarense 5,000 個数/ℓ以上

アレキサンドリウム カテネラ
Alexandrium catenella 50,000 個数/ℓ以上

・下痢性貝毒原因プランクトン(代表的な種)

ディノフィシス フォルティ
Dinophysis fortii 50,000 個数/ℓ以上

【今後の情報予定】

・次回は3月28日の週にアサリの臨時調査(洲本のみ)を予定しています。調査結果がまとまり次第「貝毒情報 KD-22-16号」としてお知らせします。

§ お問い合わせ先 § 兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター(担当: 資源部・山下、宮原)
Tel: 078-941-8601 Fax: 078-941-8604 Homepage: <http://www.hyogo-suigi.jp/>